

西陵通信

第122号(令和2年9月23日発行)

〒669-1324 三田市ゆりのき台3-4 Tel079-565-5287 Fax079-565-5289
<http://www2.hyogo-c.ed.jp/~sandaseiryo-hs/netc/htdocs>



兵庫県立 三田西陵高等学校

自主・創造・飛翔



10月行事		食堂 営業
1	木 創立記念日(生徒休業)	×
2	金	○
3	土	
4	日	
5	月	○
6	火 教育入門Ⅰ 幼保実習(3・4限)	○
7	水 教育入門Ⅱ 小学校実(5・6限) 尿検査	○
8	木 人権教育講演会(6・7限) 耳鼻科検診	○
9	金 3年実力テスト(放課後)	○
10	土 3年実力テスト	
11	日	
12	月	○
13	火 教育入門Ⅰ 幼保実習(3・4限) 1年講演会(6限) 尿検査 カウンセリング	○
14	水 教育入門Ⅱ 小学校実(5・6限)	○
15	木 歯科検診 身体測定(7限・全校生)	○
16	金 カウンセリング	○
17	土	
18	日	
19	月 中間考査①	×
20	火 中間考査② FM	×
21	水 中間考査③	×
22	木 中間考査④	×
23	金	○
24	土	
25	日	
26	月	○
27	火 教育入門Ⅰ 芋ほり交流会 (3・4限) NIE新聞記者派遣事業 (1年総合)	○
28	水	○
29	木 3年進路説明会⑥ いじめアンケート	○
30	金 2・3年実力テスト (放課後) カウンセリング	○
31	土 1～3年実力テスト	

「学び」

9月2日から4名の卒業生が教育実習生としてやってきました。学校は実習生にとって高校生としての3年間を過ごした懐かしい場所であり、当時を知る教職員も在職しています。つつい甘えが出てしまいやすい環境であることを踏まえた上で、短い実習期間に何を学ぶのかを明確にし、自己に厳しく過ごすようにとの指導しての2～3週間でした。

さて、実習生たちは今後につながる学びを得ることができたでしょうか。その

校長 奥山 勝巳

学びを学生生活にフィードバックし、更なる成長につなげてくれることを願っています。

本校生徒のみなさんは、先輩の背中から何を学んだでしょう。「学びを得る」には「学ぼうとする」ことが必要条件です。これからの社会では「生涯に渡って学び続ける」ことが求められています。そのためにも「学ぼうとする」姿勢を大切に！

2学期始業式

8月24日(月)、2学期の始業式および表彰の披露を放送により行いました。校長先生の講話では、例年になく短い夏季休業でしたが、これを当たり前としている県外の学校があることから、広い視野や柔軟な思考を目指すよう、お言葉をいただきました。

また、新年度を迎えてから約半年が経とうとしている今、進路実現や学校の中心としての活動のために「夢」と「目標」の二つのお言葉をいただき、「夢」と「目標」の違いを理解した上で、いずれも見失うことなく取り組むよう、ご講話いただきました。



また、以下のように各部活動表彰が披露されました。

ソフトテニス部 丹有大会団体

優勝：三田西陵Aチーム

2位：三田西陵Bチーム

ソフトテニス部 ダブルス

3位：三田西陵

男子バスケットボール部県総体代替大会予選(丹有地区)

2位

男子硬式テニス部 三田市高等学校硬式テニスダブルス大会 男子の部

優勝

女子サッカー部 丹有大会

優秀選手 2名

(個人名は省略します。)

教育講話

9月8日(火)の教育入門Ⅰ(1年生)は、保育・幼児教育の基礎として、絵本読み聞かせサークル「かたつむり」より春本先生、森本先生、三藤先生をお招きし「子どもの心に絵本を届ける」と題して講話いただきました。

絵本の読み聞かせを実演していただいた上で、技術的なポイントだけでなく、絵本を読む喜びや関連した「手遊び」も教えていただき、さらには参加した生徒による読み聞かせ実習にもご意見をいただきました。



また、9月9日

(水)の教育入門Ⅱ(2年生)は、小学校実習に向けて児童心理を学ぶため、神戸海星女子学院大学の濱田誠二郎先生をお招きして、ご講話いただきました。児童心理に直接的にかかわる「道徳」が教科になった経緯や構成的グループエンカウンターなどの講話だけでなく、実際にアイスブレイキングで用いられるゲームや、グループワークの実践的な活動も盛り込んでいただいたことで、より理解が深まったと思います。

